

2.4 客待ちタクシー対策

ここでは、客待ちタクシー対策についての事例を紹介する。

	施 策	主体または場所・地区
ハ ー ド 対 策	タクシープールの設置 - 1	JR 小岩駅（江戸川区）
	タクシープールの設置 - 2	JR 新橋駅（港区）
	タクシープールの設置 - 3	六本木（港区）
	タクシー待機スペースの二列化	渋谷駅西口（渋谷区）
	隔地タクシープールの設置 - 1	池袋駅東口（豊島区）
	隔地タクシープールの設置 - 2	柏駅西口（千葉県柏市）
	隔地タクシープールの設置 - 3	町田市
	総合的乗換え拠点整備事業	渋谷区、一部新宿区
	客待ちタクシーの整序化	中目黒駅（目黒区）
ソ フ ト 対 策	客待ちタクシー駐車スペースの確保	大阪府大阪市
	タクシープールの効率的運用	神奈川県厚木市

施策	
施策名称	開始年
タクシープールの設置 - 1	平成 4 年
施策概要	
<p>JR 小岩駅の駅前広場における客待ちタクシーの待機列を排除するために、駅前広場の地下部分にタクシープールを設置。</p> <p>バスの運行時間のみでの利用とし、夜間は閉鎖している。</p>	
	
[タクシープール入り口に、現在の在庫台数を表示]	[タクシープール出口付近]
	
[タクシープールでの待機状況]	[タクシー乗り場にタクシープール内での待機台数表示]
<p><実施効果></p> <p>駅前広場から、客待ちタクシーの待機列を排除。</p>	
主体	場所または地区
江戸川区	江戸川区

施策

施策名称	開始年
------	-----

タクシープールの設置 - 2	
----------------	--

施策概要

JR 新橋駅の無秩序なタクシーの待機列による周辺道路の交通渋滞解消のため、タクシープールを整備。



[タクシープール状況-1]



[タクシープール状況-2]

主体	場所または地区
東京都	港区

施策

施策名称	開始年
-------------	------------

タクシープールの設置 - 3	平成 18 年 5 月
----------------	-------------

施策概要

< 施策概要 >

六本木交差点周辺の渋滞の要因となっている客待ちタクシー待機列の解消のため、六本木通りの首都高速道路高架下を活用して、タクシープールを整備。

東京都、警視庁が、スムーズ東京 21 拡大作戦の一環として、港区、地元商店街等と協力して実施。平成 18 年 6 月の道路交通法改正（違法駐車対策）に合わせて実施。



[パンフレット]



[タクシープール]

資料：東京都ホームページ

主体	場所または地区
東京都、警視庁	港区

施策	
施策名称	開始年
タクシー待機スペースの二列化	平成 15 年
施策概要	
<p>客待ちタクシー待機スペースを二列化し、待機列の整序化を図る。 東京都、警視庁が、渋谷駅西口でスムーズ東京 21 の一環として実施。</p>	
 <p>[2 列待機施行前(H15 1 月中旬以前)]</p>	
 <p>[2 列待機試行後(H15 1 月中旬～3 月中旬)]</p>	
 <p>[2 列待機方法変更(H15 3 月中旬以降)]</p>	
	
<p><実施効果> 2 列待機ルールにより待機列の減少。</p>	
主体	場所または地区
東京都、警視庁、渋谷区	渋谷区

施策

施策名称	開始年
-------------	------------

隔地タクシープールの設置 - 1	平成 16 年 7 月
------------------	-------------

施策概要

東京都が管理する駅前の交通島を改良し、約 30 台分収容のタクシープールを設置。
プール内に台数検知器および満空表示を進入路沿いに設置し、モニターによる誘導を導入。
東京都および警視庁が、タクシーセンター等タクシー業界、豊島区、関東運輸局と協力し実施。



[タクシープール全景]

< 実施効果 >

明治通りの渋滞の一因となっていたタクシーの待機列が解消した。

主体	場所または地区
東京都、警視庁	池袋駅東口

施策

施策名称	開始年
-------------	------------

隔地タクシープールの設置 - 2	
------------------	--

施策概要

交通混雑が著しい駅前等から離れた場所に、既設駐車場を活用するなどによりタクシープールを設置し、駅前・タクシー乗り場が空いた場合に担当者から無線等により連絡し、駅前・タクシー乗り場に配車する。



[タクシープールの状況-1]



[タクシープールの状況-2]

< 駅前タクシー待機場 >
 担当者から連絡を受け駅前
 タクシー待機場へ配車



< 隔地タクシープール >
 駅前タクシー待機場から
 離れた場所に待機スペース
 を設置

< 実施効果 >

駅前の客待ちタクシーによる交通混雑・渋滞が緩和された。

< 今後の方向 >

平成 18 年度より、柏駅一体でのシステムを検討予定。

主体	場所または地区
柏市	柏駅西口（千葉県柏市）

施策	
施策名称	開始年
隔地タクシープールの設置 - 3	
施策概要	
<p>新市庁舎建設用地を期間限定で開放し、隔地タクシープールとすることにより、町田駅周辺のタクシー待機列による周辺道路の交通渋滞の緩和を目的とする。</p>	
 <p>[タクシープールの状況]</p>	
 <p>[駅前のタクシー待機列を確認するモニター画面]</p>	
 <p>[駅前のタクシー待機列の状況]</p>	
主体	場所または地区
町田市	町田市

施策

施策名称	開始年
-------------	------------

総合的乗換え拠点整備事業	平成 14 年着工
--------------	-----------

施策概要

新宿駅南口地区基盤整備事業

鉄道駅と高速バス関連施設などの交通結節点としての利便性向上を目指す総合的な乗換え拠点整備事業。

この整備事業は、人・環境・アメニティ（快適性）をテーマに老朽化が進んだ新宿路線橋の架け替え、駐車場等の交通広場やゆとり空間の創出、新宿駅周辺の回遊性確保の3つのプロジェクトで進んでいる。



[整備イメージ図]

主体	場所または地区
-----------	----------------

関東地方整備局東京国道事務所	渋谷区、一部新宿区
----------------	-----------

施策

施策名称	開始年
-------------	------------

客待ちタクシーの整序化	平成 17 年 3 月
-------------	-------------

施策概要

中目黒駅では、隣接してタクシープールが整備されているにもかかわらず、利用者は少なかった。これは、駅前の山手通りの停車帯にタクシーが待機しているため、改札を出た人の流れはタクシーの待機列へ向かうことが原因であった。

また、客待ちタクシーの待機列は、交通の妨げにもなっていた。

駅前の山手通りの停車帯を、客待ちタクシーが待機できないように構造変更し、既存のタクシープールで待機させるようにした。



[対策前]



[対策後]

主体	場所または地区
-----------	----------------

東京都	中目黒駅（目黒区）
-----	-----------

施策	
施策名称	開始年
客待ちタクシー駐車スペースの確保	平成 16 年 1 月から 5 月末
施策概要	
<p>南地堺筋クリアウェイ作戦</p> <p>タクシー乗り場の統廃合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー乗り場を 9 箇所から 6 箇所に整理。 ・ 一般客待ちと予約を分離。 <p>違法駐車等の指導取締り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り場導線を確保するため、違法駐車取締りを強化。 ・ タクシードライバーへの指導。 <p>事前広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元への広報。 <p>大阪府警察、近畿運輸局、近畿地方整備局、大阪府、大阪市、大阪タクシーセンター、大阪タクシー協会、全大阪個人タクシー協会が、タクシー対策連絡協議会を設立し実施。</p>	
[試験実施案]	
主体	場所または地区
タクシー対策連絡協議会	大阪府大阪市

施策	
施策名称	開始年
タクシープールの効率的運用	平成 15 年 2 月 1 日
施策概要	
<p>< 施策の背景 ></p> <p>駅周辺で運行するタクシーは現在、4 社及び個人タクシー合計で 210 台程度である。北口プールには計 23 台しか乗り入れできず、これまで各社が平等に乗客を得ようと到着順にプールに入っていた。このため順番待ちのタクシーが、交通量の多い道路に長い列を作って待機していた。駅北口脇の横浜銀行支店からイトーヨーカ堂までの路上は、プールに入りきれない客待ちのタクシーが多い時は 20～30 台も駐車して、交通渋滞の原因や歩行者の妨げとなっていた。市役所には市民から苦情が寄せられ、97 年から市とタクシー各社との話し合いが続けられてきた。</p> <div data-bbox="481 797 1118 1176" data-label="Image"> </div> <p>[客待ちタクシーの待機列]</p> <p>< 施策の概要 ></p> <p>厚木市本厚木駅周辺 GPS を活用した、タクシー待機。 新しいシステムは、プールに乗り入れる台数をタクシー事業者ごとに割当て、各社がそれぞれ GPS を利用してプールの空き状況を掌握し、無線で待機するタクシーに知らせる仕組み。 客待ちタクシーは、路上駐車をやめてプールに乗り入れるまで各営業所の車庫で待機する。 これにより、路上待機による交通渋滞の解消が期待できる。</p> <p>< 課題等 ></p> <p>整備費用が 1 台あたり約 70 万円かかる。</p>	
主体	場所または地区
厚木市、タクシー事業者	神奈川県厚木市